

授業科目 臨床検査総論実習Ⅰ

【担当教員名】 長濱 大輔、尾崎 京子、野崎 涼子		対象学年	2	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○			
【概要・一般目標：G10】 一般臨床検査は、定性・半定量検査を手法としたスクリーニング検査である。現在、尿検査のほとんどが簡便な試験紙法で行われている。検査の臨床的意義の把握は勿論のこと、操作法の習得、原理、測定上の注意点、感度、特異度等についても理解を深める。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 一般検査の臨床的意義を説明できる。 2. 採血の方法や注意点を説明できる。 3. 尿が生成される機序について説明できる。 4. 尿試験紙の使用方法和注意点について説明できる。 5. 各項目の結果の解釈について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1、2	一般検査とは			1	実習
3、4	採血の講義、採血モデルを用いた実習			2	実習
5、6	静脈採血（その他の部位を含む）の実際			2	実習
7、8	尿コントロール液（人工尿）の作製			3	実習
9、10	尿試験紙の特徴、使用方法、そして使用上の注意点			3	実習
11、12	尿の一般的性状検査（pH、比重）			3	実習
13、14	尿タンパク・尿糖・尿ケトン体の定性・半定量検査			3	実習
15、16	尿タンパク・尿糖の定量検査			3	実習
17、18	尿潜血の検査			3	実習
19、20	尿ビリルビン、尿ウロビリノーゲン検査			3	実習
21、22	尿糖・尿潜血反応とアスコルビン酸を代表とする尿中還元性物質			3	実習
23	その他の検査、まとめ			3-4	実習
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書	臨床検査総論	伊藤 機一、松尾 収二 他	医学書院	2013	
その他の資料					
【評価方法】 レポート（10%） 定期試験（90%）		【履修上の留意点】 臨床検査に関する基本的な技術を習得するので、できるだけ繰り返し行うこと。			